

なまこん信州

第74号
Namacon Shinshu
2017.6.30
(平成29年)

URL:<http://www.nr-coop.server-shared.com> E-mail:nr-coop@muse.ocn.ne.jp



小川村から北アルプスを望む

目次 contents

平成29年度第43期通常総会開催される	2
表彰者紹介	2
平成29・30年度役員・委員会委員名簿	3
平成29年度品質管理監査について	3
第19回生コン技術大会	4～5
北から南から	5
事務局だより	6
編集後記	6

発行所
長野県生コンクリート工業組合
〒381-2213
長野市広田48番地神明第1ビル5階
☎026-283-8712
発行責任者 山浦友二
奥山印刷工業株式会社

山浦理事長再任され、

生コン需要の拡大と良質な生コンの安定供給を目指す！

工業組合の平成二十九年年度第四十三期通常総会は、五月二十三日(火)長野市内において開催された。

総会では組合員による綱領斉唱の後、山浦理事長からのあいさつ(要旨)があった。

長野県経済は緩やかな回復基調にあるものの、中小企業により組織される生コン業界にとって厳しい経営環境となっている。年々生コン出荷量が低迷するなか、生コンの需要拡大に取り組むことにより、本年度は昨年度を上回る出荷量を確保したい。また、施工の合理化を推進するだけでなく、耐久性に優れたコンクリート構造物に対する要求が高まっている中、技術力を高めより良い生コンの出荷に努めていくことが必要であると組合員に強く働きかけた。

山浦理事長が議長となり議案の審議が進められた。
平成二十八年度事業報告及び同

決算が承認され、平成二十九年事業計画(案)・同予算(案)・賦課金の額及びその徴収方法(案)・役員報酬の最高限度額(案)について、原案通り承認された。特に、平成二十九年度の生コン需要

見込みが対前年度出荷実績に対し九三・六%と大幅に減少する見込みであることから、新年度の事業計画では、生コンの需要拡大に努め、品質の確保と安定供給を組合員が一丸となって取り組むこととした。また、労働災害が増加傾向にあるなか講習会等を開催しその撲滅を図るなど新たな取り組みが承認され、総会審議事項が全てつ

つがなく終了した。
引き続き役員改選が行われ理事十三名が満場一致により承認された。
休憩をはさみ別室において新役員による理事会が開催され、理事長に山浦友二佐久支部長が再任さ

れ、副理事長に鷲澤幸一長水支部長、山田尚人木曾支部長、米山多朗下伊那支部長の三名が選任された。新役員を代表して山浦理事長から生コン需要の拡大に努め、ユーザーの期待に応える良質な生コンの安定供給に引き続き務めていくとの力強いあいさがあった。
続いて、組合運営に対し永年ご

尽力をいただいた、別記の方々に感謝状・表彰状が贈呈された。
その後、ご出席いただいた来賓を代表して、吉田博美参議院議員自由民主党幹事長(代理)、長田透政策秘書)、諏訪光昭長野県議会副議長、油井均長野県建設部長から、良質な社会資本の整備を推奨していくうえで、生コン業界の果たす役割と責任が益々増大していることや、生コンの供給面において品質に優れた生コンの安定供給が必要不可欠であることなど、それぞれの立場からお祝と励ましの

ご祝辞をいただき閉会となった。
続いて、祝賀パーティーが別室において開催され、お忙しいなかご出席を頂いた服部宏昭長野県議会議員、萩原清長野県議会議員、

平野茂基長野県議会議員、若林健太前参議院議員から其々のお立場で業界に対しご理解あるご挨拶を頂き、和気あいあいの内にも盛大に開催され、実りの多い総会となった。

平野茂基長野県議会議員、若林健太前参議院議員から其々のお立場で業界に対しご理解あるご挨拶を頂き、和気あいあいの内にも盛大に開催され、実りの多い総会となった。

感謝状受賞者の紹介

●役員等退任者(感謝状)

中村 清 司 (大北支部)

(工組 副理事長)

本道 孔 崇 (諏訪支部)

(工組 理事・監事)

伴野 東 介 (諏訪支部)

(工組 理事)

高見澤 英 幸 (下伊那支部)

(工組 理事)

藤井 宏 人 (長水支部)

(工組 監事)

下里 泰 郎 (安筑支部)

(工組 監事)

●多年勤続功労者(表彰状)

大谷 康 夫

(白馬小谷生コン株式会社)

中村 邦 夫

(佐久生コン事業協同組合)

●十五年以上無事故・無違反優良運転者(県警交通部長・工組理事長連名表彰)

内山 勤 哉 (長水支部)

(信州生コン株式会社)

平成29・30年度 長野県生コンクリート工業組合 役員・委員会委員名簿
 長野県生コンクリート協同組合連合会

役員名簿

役職	氏名	支部・協組
理事長・会長	山浦友二	佐久
副理事長・副会長	鷺澤幸一	長水
〃	山田尚人	木曾
〃	米山多朗	下伊那
理事	傳刀俊介	大北
〃	関川澄忠	安筑
〃	田村勤	松本
〃	諸橋賢二	諏訪
〃	春日伸一	上伊那
〃	高見沢健	上小
〃	宮島政美	上水
〃	福原初	北信
専務理事	倉石清	県工組
監事	関修一	上小
〃	勝家哲夫	大北
〃	伊澤一郎	上伊那
〃	本藤潔	長水

委員会委員名簿

項	工業組合・協同組合連合会	工業組合		協同組合連合会
	総務委員会	技術委員会	労働安全衛生委員会	共同事業委員会
支部名				
大北		◎藤原 一幸	鶴川 悟	郷津 健
安筑		松倉 充志	金原 勸	下里 勝
松本		坂井 勤	加藤 平	小林 直樹
木曾		加藤 清	中島 勉	道下 悟
諏訪		横川 英雄	笠井 洋	◎伴野 東介
上伊那		有賀 喜文	京澤 久彦	小松 和彦
下伊那		勝亦 謙	小林 修彦	橋爪 忠夫
佐久		矢野 誠一	◎新海 悟	高瀬 義則
上小		高瀬 義則	有沢 晃	東 純一
長水		平坂 一雄	堀川 健治	藤井 宏人
上水		山本 博昭	田中 章	大久保弘男
北信		中村 俊彦	川田 昭彦	中村 俊彦
担当副理事長 担当副会長	鷺澤 幸一	山浦 友二	米山 多朗	山田 尚人

◎は委員長

平成二十九年品質管理監査について

長野県生コンクリート品質管理監査会議 事務局

平成二十九年品質管理監査会議が去る四月十二日に開催され、本年度の監査計画が原案通り承認されました。工場立入り検査及び査察は五月九日からすでに開始されていますが、計画では、監査は七一工場七二プラント、査察は八工場の予定としています。監査計画がスムーズに遂行されますよう、支部及び工場のご協力をよろしくお願いいたします。平成二十九年品質管理監査の方針は前年度と同様に「指導要望事項の早期改善と、呼び強度比の低減」及び、「品質管理に対する意識の向上」とし、具体的な施策を三項目としています。報告会及び品質管理責任者講習会などで報告した通り、昨年度は指導要望事項の目標が未達成でしたので、本年度の目標値は前年度と同様としていきます。具体的な目標値として、指導要望事項の削減については、是正報告〇件、指導要望事項九〇件以下とし、前年度指摘事項の是正率を九七%以上としています。改善計画の報告については一か月以内に行うこととし、期限厳守としていきます。また、呼び強度比の低減については、平均値の目標値を一・三〇、一・五〇を超える工場を〇としています。品質管理意識の向上として行う教育記録を基にした調査は、品質管理責任者講習会において、各工場責任者が立案された社内への周知徹底内容を確認するとともに、各担当者への質問を行うこととしています。質問内容は未公開とし、前年度よりレベルアップしたものといたします。査察は従来通り、工場選定を議長・副議長が行い、実施当日の八時に通知することとしております。査察要領の変更に伴い、調査対象の生コンクリートは、査察当日の一バッチ目をさけることとしております。当日は、査察実施に当たり事前打ち合わせを行いますので、ご協力をお願いいたします。

第十九回生コン技術大会開催される。

生コン技術大会を終えて

(株)吉川工務店 大桑生コン工場

山本 俊二

去る四月十三日・十四日に開催されました「第十九回生コン技術大会」での論文発表を無事終えることができました、全生技術大会で発表できた事は大変貴重な体験だったと思います。

今回私が発表した論文ですが、弊社では昭和五十九年からQC活動を導入して日常業務の改善により高品質な生コンクリートの製造に取り組んでおります、本報告は細骨材の表面水率試験方法について見直しを図り試料採取から測定までの現状と問題点を把握して対策を講じること、現状よりも迅速かつ精度の高い測定結果を生コンクリートの製造工程に反映させた取り組みの事例です。

工場の年度目標として、生コンクリート製造工程の改善を掲げて



おり、QC活動で細骨材の表面水管理に着目しました。その中でも細骨材の表面水率試験は、試料採取のタイミングや試験員の技量によつて結果が判明するまで時間が必要となることが多くみられ、表面水率の測定値は試験員の間で差が大きいかも判明しました。そこで試料採取方法と表面水率試験方法を見直し、より短時間かつ精度の高いデータを製造に反映できるように改善を図った取り組みです。

発表を終えての感想ですが、まずは論文の作成から悪戦苦闘が始まりました、社内で発表したものを技術大会用の論文に直さなくてはなりませんでしたが、色々な制約の中なんと一回目の提出を行い、査読後、修正の依頼が返ってきましたがその修正箇所は中途半端なものではなく全面的に修正することになりました、色々な方々の協力を得てなんとか最終原稿締切までに提出でき受理されました。発表は一日目の九番目です、第二セッションの日常業務の改善事例として発表を行いました。発表時間は一〇分間です、何度も事前発表の練習を行い時間も一〇分程度で納めることが出来そうでした、緊張が高まる中いよいよ私の順番です出だしはすぐ緊張しました。発表をしながら緊張も和らぎ落ち着いて発表をしていると突然ベルが一回鳴りました（講演終了二分前合図）あれ、自分が思っていたよりかなり発表のペースが遅いのに気が付き一瞬発表が止まってしまい動揺しましたが、が何とか少し時間を超過して発表を終えることができました。

最後になりましたが、論文の作成と発表にあたってアドバイスを頂いた長野県工組、セメントメーカーをはじめ、発表の応援に来ていただいた木曾の技術委員会の皆さん、色々な面で理解と協力をして下さった会社の皆さんにお礼を申し上げます、ありがとうございました。

全生第十九回生コン技術大会を終えて

(株)依田川生コン

羽毛田 高

この度「全生第十九回生コン技術大会」において、論文を発表するということ、非常に光栄な機会をいただけた事感謝します。

今回発表した論文ですが、平成二十六年技術研究発表で発表した『ゴムチップを混入したコンクリートの諸性状について』の論文に加筆、訂正したものです。

論文の内容は、粗骨材、細骨材をゴムチップで置換した複数の配合のコンクリートを作成し、各々



の性状と強度発現を比較しました。
また、同時にポーラス版も作成し、消音性衝撃吸収性、熱伝導性を検証しました。

性状と強度発現ですが、ゴムチップ入りのコンクリートは、ベース配合のコンクリートに比べて、スランプが低下し、圧縮強度も低下しました。

ポーラス版を用いての消音性、衝撃吸収性、熱伝導性の検証については、いずれの検証についても、ゴムチップを混入したコンクリート

ト版の方が、ベースのコンクリート版よりも良好な結果となりました。

以上の事から、ゴムチップを混入したコンクリートには、遊歩道・防音壁・断熱壁等、様々な用途への活用が期待出来ると考えられます。

今回の発表を終えての感想ですが、発表順が四番目だったので、先の発表者の発表や発表への質問を聞いているうちに、緊張の度合いが高まり、発表時は、緊張のピークに達していました。

幸い、発表が始まると、ステージから見える範囲が狭かったので、緊張も少しは解れました。もちろん、当日に備えて、何回も練習をしました。いざ発表となると、練習した通りにはいきませんでした。

発表が終わった後は、質疑応答の時間でした。事前に質問されそうな事を想定していましたが、当日はこちらが想定していなかった質問を受け、答えに窮してしまいました。

今回の技術大会の発表は、普段、

大勢の聴衆の前で発表する事のない私自身にとっては、大変貴重な機会になりました。また、参加者の生コンへの様々な視点から、生コンに対する立位置が変われば、見方も変わるのだと感じました。最後になりましたが、今回の発表

表では、発表にあたって、アドバイスをいただいた長野県工組をはじめ、大会当日に会場まで応援に来て下さった上小の技術部会の皆さん、大会に集中できるような状態にしてくれた会社の皆さん、本当にありがとうございました。

協組の話 北から南から

新年度を迎えて

上水工コンクリート事業協同組合

和田美樹

当組合は山間の緑豊かな中条にあり、組合員数は四工場と小規模な組合です。

今年も早いことにもう六月となりました。当組合は新年度のスタートです。大久保弘男前理事長

が退任し、宮島政美新理事長が就任となりました。今年度より職員も出向職員制度が廃止となり、私たちは組合職員として業務することになりました。決算期に加え新体制の中、本当にバタバタした毎日です。三名という少人数ではありませんが力を合わせて乗り越えて行きたいと頑張っております。又新たに勉強しなくてはならないこともたくさんありますが、忙しい中にも充実感を実感しております。

組合設立から長年理事長を務められた大久保前理事長に感謝の意を表し、これからは宮島新理事長の下、新体制で全力を尽くす所存です。これからも皆様のご指導、お力添えをよろしくお願い申し上げます。

事務局 だより

活動報告・予定

自：平成29年4月
至：平成29年8月

平成29年度

- 4月4日 リニア中央新幹線建設工事連絡会議
- 4月12日 第一回監査員会議
- 4月13・14日 第一回品質管理監査会議
- 4月19日 第一十九回生コン技術大会
- 4月26日 第一回技術委員会、協組技術委員長・部会長合同会議
- 4月28日 監査員研修会
- 5月9日 第一回正副理事長会議
- 5月9日 第二回正副理事長会議
- 5月18日 第一回理事会
- 5月19日 第三回正副理事長会議
- 5月23日 リニア中央新幹線建設工事等に関する要請中部地方整備局（天竜川上流 河川、飯田国道事務所等）
- 5月23日 第四回正副理事長会議
- 第二回理事会
- 協同組合連合会第一十八期通常総会

- 工業組合第四十三期通常総会
- 第三回新理事会
- 5月31日 新正副理事長行政機関へ挨拶廻り
- 6月9日 第二十回GN技術勉強会in長野
- 6月27日 第一回労働安全衛生委員会会議
- 7月10日 長野労働局労働基準部健康安全課「労働災害の現状と課題について」
- 7月25日 第二回監査員会議
- 8月3日 第二回技術委員会、協組技術委員長・部会長合同会議
- 8月3日 セメント技術専門委員会と工組・協組技術委員会との懇談会
- 8月3日 第九回正副理事長会議
- 8月3日 建設部との懇談会
- 8月3日 第二回品質管理監査会議

長野県建設産業 団体連合会会長表彰

建産連の第三十六回通常総会において
長野県生コンクリート工業組合
副理事長 **中村清司** 様

長年のご功績により
会長表彰を受賞され
ました。おめでとうご
ざいます。



編集後記

「第73号」に誤りがありましたので、次のとおり訂正いたします。

- 5 ページ 下段 コンクリート技士・主任技士試験取得合格者名簿一覧表
- 〃 コンクリート主任技士 上小支部 斉藤 有紀 ↓ 斉藤 友紀
- 〃 コンクリート技士 長水支部 小澤 孝一郎 ↓ 北信支部
- 7 ページ 下段から2段目 「飛躍の年」 斉藤 有紀 ↓ 斉藤 友紀
- 〃 3行目 と思いながら ↓ 思いから
- 〃 6行目 今回の、↓のを削除
- 〃 23行目 に出題傾向は ↓ 問題の傾向は

平成二十九年第四十三期工業組合、第十八期協同組合連合会通常総会が五月二十三日、長野市内にて開催され、事業計画（案）等が承認されました。また、山浦理事長が再任され新たな役員体制でスタートすることとなりました。

さて、四月十三日、十四日の両日東京都「日経ホール」にて、全国生コンクリート工業組合連合会・同協同組合連合会主催による「第十九回生コン技術大会」が開催され、当工業組合から木曾支部及び上小支部から「製造工程中の細骨材表面水管理方法の見直し」と「ゴムチップを混入したコンクリートの諸性状について」と題して、発表されました。審査員から鋭い質問を受けるなか、発表者は適切に回答

されていたのが印象的でした。発表者及び携わった技術者達は、毎日の仕事に従事しながら、研究テーマについて日々研さんを重ね、事前にリハールを行い、発表に臨まれたことと思います。お疲れ様でした。

この度、第七十四号なまこん信州へ寄稿いただき、ありがとうございます。また、当工業組合では生コン技術大会への登竜門として、毎年「技術研究発表会」を開催し、二支部から発表されています。今後も、組合員の品質管理・技術の向上等に繋がるよう継続して開催してまいります。

今年度も皆様のご理解とご協力をいただき、支部（協組連）・組合員と連携を密にして、各種情報及びご案内通知をメール等でお知らせいたしますので、よろしく願います。